

児童生徒質問紙から見た状況

子どもたちの学力向上には、学校での授業や家庭学習の充実に加え、基本的な生活習慣や規範意識を身につけ、家庭生活を充実させることも欠かすことができません。
下記のポイントについて、改めて確認してみましょう。

CHECK!

○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

※「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合のみ表記しています。



○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

※「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合のみ表記しています。



- ✓ 規則正しい生活習慣を身につけさせ、早寝、早起き、朝ご飯を心がけさせることが大切
- ✓ テレビやゲーム、PCなどの使用時間を決めて行わせ、計画的な時間の使い方を身につけさせることが大切

○学校のきまりを守っていますか

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合のみ表記しています。



○家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか

※「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合のみ表記しています。



- ✓ 家や学校のきまり・約束を確認し、規範意識を高めさせることが大切
- ✓ 学校のこと、友だちのことを話題にして、子どもと会話することが大切

◎子どもの話を最後まで聞く(傾聴) ◎話に共感しながら、さらに問いかける

加古川市教育委員会

〒675-8501 加古川市加古川町北在家2000
電話 079 (427) 9354 / FAX 079 (421) 4422

平成30年度

加古川市の学力・学習状況

平成30年4月、全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、改善を図ることを目的としています。

このリーフレットは、加古川市の現状を分析してまとめたものです。掲載している結果は、学力や学習状況の一部であることを踏まえつつ、この結果を基に、学校と家庭が連携しながら、これからの時代に求められる資質・能力の育成を図っていきたいと考えています。

小学校

中学校

国語A

○全国平均と同程度で、目的に応じて必要な情報を捉えて読むことに成果が見られました。しかし、主語と述語の関係などに注意して文を正しく書くことに課題が見られました。(69%)

国語B

○全国平均と同程度で、「話すこと・聞くこと」の領域において成果が見られました。しかし、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られました。(54%)

算数A

○全国平均と同程度でしたが、百分率を求める問題や折れ線グラフから変化の特徴を読み取る問題に課題が見られました。(61%)

算数B

○全国平均と同程度で、示された考えを解釈し、数量関係を考察する問題に成果が見られました。しかし、敷き詰めた模様の中に、条件に合う図形を見いだす問題に課題が見られました。(51%)

理科

○全国平均と同程度でしたが、実験結果を基に分析・考察し、その内容を記述する問題に課題が見られました。(60%)

国語A

○全国平均と同程度で、概ね良好でした。しかし、目的に応じて文の成分の順序や構成を考えて適切な文を書く問題に課題が見られました。(76%)

国語B

○全国平均と同程度でしたが、相手の的確に伝わるよう、あらすじを捉えて書く問題に課題が見られました。(60%)

数学A

○全国平均と同程度で、概ね良好でした。数直線上に示された負の整数を読み取る問題や文字式に数を代入して式の値を求める問題に成果が見られました。(67%)

数学B

○全国平均と同程度でしたが、資料の傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題に課題が見られました。(46%)

理科

○全国平均と同程度で、基礎的・基本的な知識を問う問題に成果が見られました。しかし、観察実験の条件を考え、自然の事物現象の中に問題を見いだすことに課題が見られました。(66%)

- ・A問題：主として基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかどうかをみる問題 ()は本市の平均正答率
- ・B問題：主として知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題
- ・理科に関しては、A・B両方を含む問題

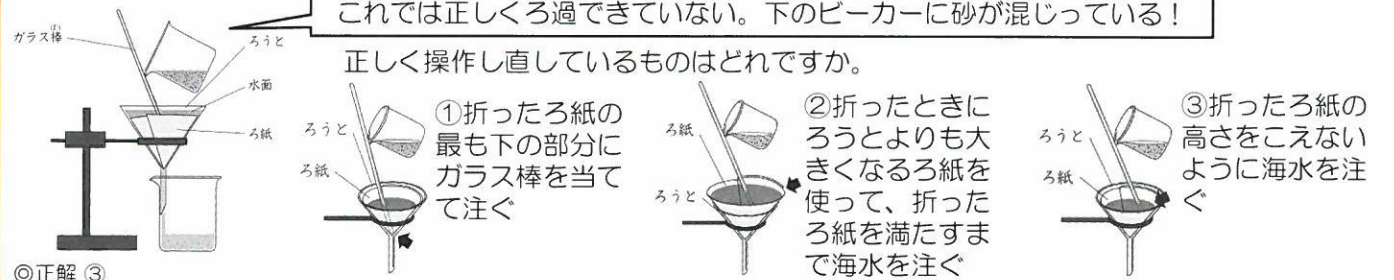
成果が見られた問題(例)にチャレンジ

※問題を一部分省略

小学校理科

これでは正しくろ過できていない。下のビーカーに砂が混じっている!

正しく操作し直しているものはどれですか。



◎正解 ③

これからの時代に求められる資質・能力

できる学力

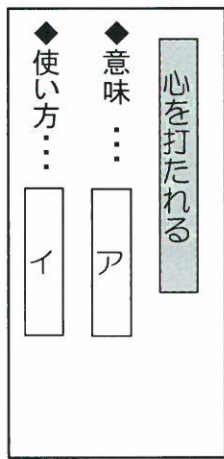
「何を理解しているか、何ができるか」
生きて働く「知識・技能」の習得

小学校国語A

「できる学力」に成果が見られた問題(例)

◎日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使うことができるかどうかをみる問題

- ア 1 一つのこと集中する。
2 遠りよする。
3 感動する。
4 あれこれと心配する。
- イ 1 オークストラの演奏をきき、心を打たれる。
2 地域の発展のために、長い間、心を打たれる。
3 相手に失礼のないように心を打たれる。
4 同級生に心を打たれることなく相談する。

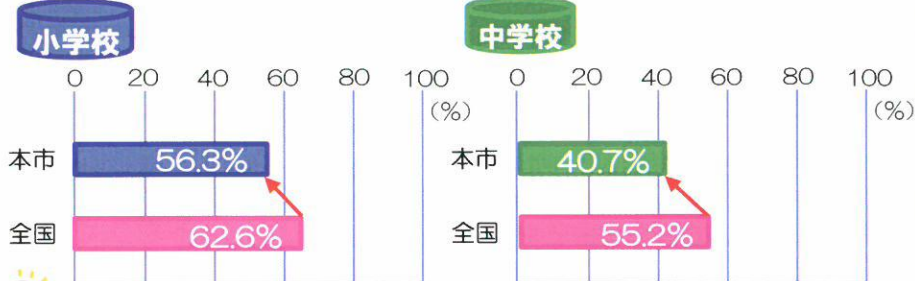


【カード】
○北村さんは、読んでいた本の中に出てきた表現の意味と使い方をカードにまとめています。北村さんが書いた【カード】の「ア・イ」の中に入っている内容として最も適切なものを、あとの1から4までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

◎正解 ア3.イ1

一方、児童生徒質問紙では

○家で、学校の授業の予習・復習をしていますか
※「している」、「どちらかといえば、している」と回答した割合のみ表記しています。



さらに、「できる学力」を伸ばすには

- ✓ 予習や復習をさせるなど、計画的な学習が必要
- ✓ 時間を決めて続けさせることが必要
- ✓ 繰り返し、学習させることが効果的



学びに向かう力・人間性等

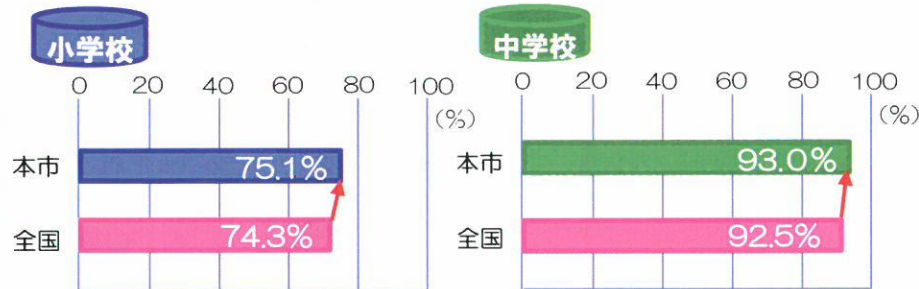
「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」
「学びに向かう力・人間性等」の涵養

※涵養(かんよう)…少しずつ養い育成すること

○算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか(小学校)

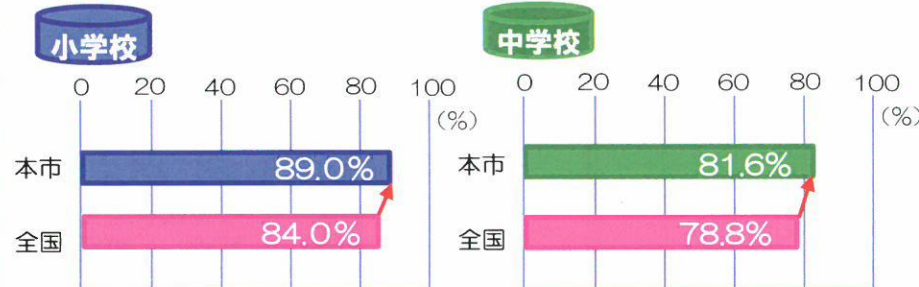
○数学ができるようになりたいと思いますか(中学校)

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合のみ表記しています。



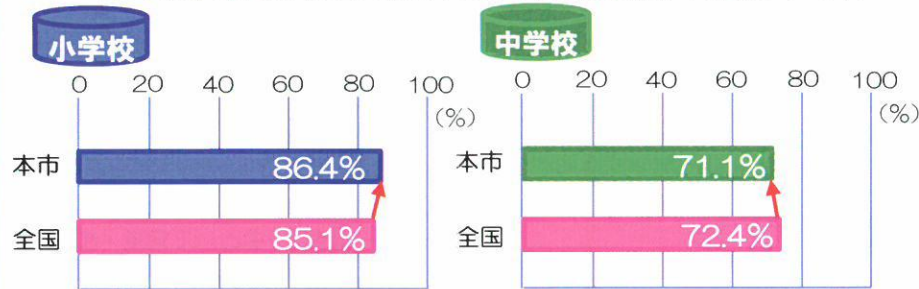
○自分には、よいところがあると思いますか

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合のみ表記しています。



○将来の夢や目標を持っていますか

※「当てはまる」、「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合のみ表記しています。



学習意欲を持ち、自尊感情は高い

「学びに向かう力・人間性等」の育成を図るには

- ✓ 今できていることを認めて、ほめることが大切
- ✓ 自ら取り組む姿を見守ることが必要
- ✓ 努力の過程や結果を認め、励ます言葉かけが必要



わかる学力

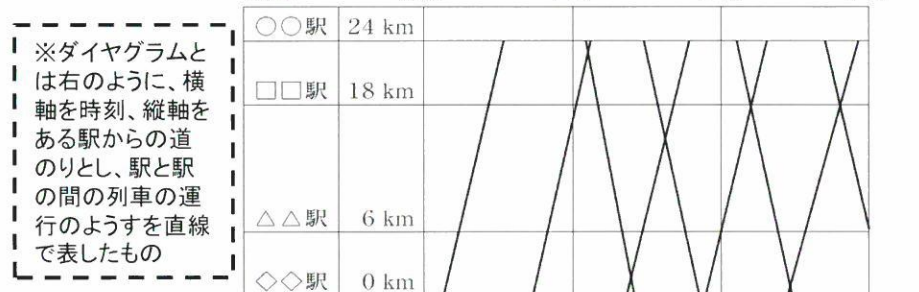
「理解していること・できることをどう使うか」
未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」の育成

中学校数学B

「わかる学力」に成果が見られた問題(例)

◎事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題

○太一さんは、自分の地域を走る列車の写真を撮影し、紹介しようと考えています。そこで、ダイヤグラムを参考にして、撮影計画を立てることにしました。



※ダイヤグラムとは右のように、横軸を時刻、縦軸をある駅からの道のりとし、駅と駅間の列車の運行のようすを直線で表したものです。

(1)ダイヤグラムでは、列車の運行のようすが直線で表されているのは、次のように考えているからです。

列車の運行のようすを直線で表しているのは、
□ が一定であると考えているからです。

上の□に当てはまる言葉として正しいものを、アからエの中から選びなさい。

- ア 列車の速さ イ 列車の出発時刻
ウ 列車の到着時刻 エ 列車の走行距離

◎正解 ア

さらに、「わかる学力」を伸ばすために

「わかる学力」の育成を図る

協同的探究学習

に基づく授業実践を全市で取り組んでいます

◎自分の多様な考えや解法を表現する

◎一人一人の考えを、クラスで共有・関連づける

◎学習内容の質を深める

